

## ～被災地からのメッセージ～

『東日本大震災』から約11年が過ぎました。

この間、全国はもとより世界中から、支援、ボランティアなどのお力添えを頂きました。

今尚、途切れることなく心のこもった支援を頂いています。心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

地震・津波・原発事故の複合災害は、起こるべくして起ったと言っても過言ではありません。

神話 <原発は絶対安全>は、津波と言う自然災害の前に屈したのです。

相双地方には、原子力発電所、火力発電所が多くあります。地球温暖化、世界情勢で電力不足が、私たちの生活を脅かしています。

被災地の私たちは、震災時国境を越えた支援体制を忘れることはありません。世界中のあらゆる情勢に敏感に反応し、私たちの出来る支援をすることが、皆さんへの恩返しになると思っています。

2022年8月20日

福島県南相馬市 環境カウンセラー 長澤 利枝

## ～余震はいつまで続く～



2022.5.22 松川浦

2022年3月14日23時08分 福島県沖震源地地震発生 震度6強地震から5カ月経った今も罹災調査が続く。半壊・全壊になった住民は、建て替える余裕がなく、これからの生活に不安が募る。それでも今年は「野馬追」を遂行、「相馬魂」を示し、武者と住民が、被災地の復興を祈願した。



2022.7.23 南相馬市